

評価機構

2025

5

月号

# NEWS LETTER

特集

## 医療エグゼクティブ・オフィサー養成セミナー

～不確実な時代における病院経営の新たな学びの場の創造をめざして～



人の安心、医療の安全 JQ  
公益財団法人 日本医療機能評価機構  
Japan Council for Quality Health Care

## 医療エグゼクティブ・オフィサー養成セミナー

～不確実な時代における病院経営の新たな学びの場の創造をめざして～

教育研修事業 常務理事 橋本 廸生

### はじめに

近年、医療環境は急速に変化しており、病院経営においても新たな課題が次々と浮上しています。特に、医療安全やガバナンス、資金マネジメント、組織開発、人材開発など、多岐にわたるテーマに対応できる経営幹部の育成が急務となっています。こうした背景を受け、公益財団法人日本医療機能評価機構（以下、評価機構）は、2025年度から新たな教育プログラム「医療エグゼクティブ・オフィサー養成セミナー」を開講します。

本セミナーは、病院の経営幹部層を対象とし、ケースメソッドを中心とした実践的な学びを通じて、不確実な時代における病院運営を多面的に支援します。

### セミナー開発に至る経緯

評価機構は、これまで病院機能評価事業を軸に、全国の病院の質改善活動を支援してきました。たとえば、医療クオリティマネジャーをはじめとして、医療対話推進者、医療安全管理者など、病院内で多職種と協働し組織横断的な役割を果たす人材の育成に力を注いできました。また、厚生労働省の委託を受け、特定機能病院の管理者を対象とした研修を実施し、医療安全文化の醸成や組織ガバナンスの強化に寄与してきました。

しかし、昨今の社会情勢と医療環境の著しい変化を踏まえると、一般病院の経営幹部層に対しても、医療安全やガバナンスのみならず、資金マネジメント・組織開発・人材開発等を含めたより広いテーマを扱う学びの場を提供し、不確実な時代における病院運営を多面的に支援する必要があります。特に、今後は自施設の持続可能性だけでなく、地域における医療提供体制の確保というより高い視座からも病院運営が求められる中にあることは、「地域感覚<sup>\*1</sup>」と「デザインセンス<sup>\*2</sup>」を備えた経営幹部の存在が欠かせません。

このような経緯から、これまでに評価機構や当事業で培った知見やネットワーク、運営のノウハウなどを最大限活かし、新たな研修プログラムを開発するに至りました。

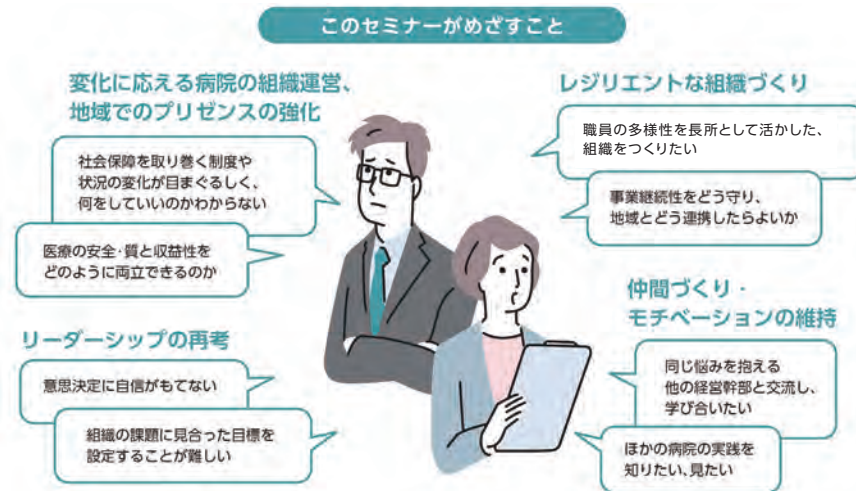
※1 地域感覚：地域の特性やニーズを理解し、それに応じた医療提供を行う能力。

※2 デザインセンス：組織やサービスの設計において、効果的かつ効率的な解決策を導き出す能力。

私たちは、当事業が目指すこれからのリーダーとして「医療エグゼクティブ・オフィサー」を下表のように定義し、セミナーではその養成に注力します。

### 医療エグゼクティブ・オフィサーとは

- ・医療機関の経営幹部として、自施設の事業継続性を確保するために果たすべき役割を自ら定義し、戦略的に取り組むことができること。
- ・医療機関が直面している課題のみならず、地域における医療提供体制や中長期的に対応すべき課題に対して、広い視野をもち目標達成に向けて取り組むことができること。



## セミナーの概要

本セミナーは、約10カ月間という長期にわたるカリキュラムが組まれています。ケースメソッドを主たる教育手法として中心に据え、必要かつ重要なテーマに関しては講義やグループワークを組み合わせます。受講者は、規定回数以上の出席と修了課題の発表により修了となります。

対象は、全国の病院における経営幹部層の方を想定し、少人数で開催します。学習目的に応じて対面とwebを織り交ぜ、学習の効果と学習者の利便性を確保します。

●費用 385,000円(税込み)

●定員 30名程度

●対象 病院における経営幹部層・職種不問

●特徴

1. ケースメソッド<sup>※3</sup>による実践的な学び：リアルなケースを題材に、クラスでの議論を通じて分析・課題特定・意思決定といった課題解決力を鍛えます。
2. 多様なテーマのカバー：医療安全やガバナンスに加え、資金マネジメント、組織開発、人材開発など、幅広いテーマを扱います。
3. 地域感覚とデザインセンスの醸成：地域の医療提供体制を視野に入れた経営戦略を立てる力を養います。
4. 修了後のネットワーク構築：修了後も継続的に学び合える場を提供し、講師や受講生どうしのネットワークづくりをサポートします。

※3 ケースメソッド：実際のビジネスや組織が直面した問題を題材に、参加者が議論を通じて解決策を探る教育手法。



## セミナーの構成

このセミナーは、4つの段階を想定して構成しています。STEP0として、受講者ご自身の経験やご経歴、あるいは自律的な自学自習を前提としますが、続くSTEP1・STEP2・STEP3を評価機構が主導して開講します。

すなわち、必要な知識・ノウハウを全て教え授ける従来の学習スタイルではなく、受講者ご自身のご経験、ご見識を持ち寄っていただくことで、講師・受講者がともに毎回の学びの場を創り上げていきます。

### セミナーを構成する各コースの紹介

#### STEP0 マネジメント基礎・応用コース：

ご自身のニーズと興味に応じて、マネジメントの基礎知識をインプットします。このコースでは、経営戦略や財務管理、情報管理などの基礎を学び、病院経営の基盤を固めます。

※各自のニーズも鑑み、STEP1・2・3の学習テーマも参考に自学自習を行います。推薦する外部講座・コース、書籍等は、事務局より積極的に情報提供いたします。

#### STEP1 マネジメント実践コース：計10回

フロントランナーや先達の講義や対話を通じて、テーマに対する理解を深めます。具体的には、医療の安全・質、組織開発、資金マネジメント、地域医療構想など、実践的なテーマを取り上げます。

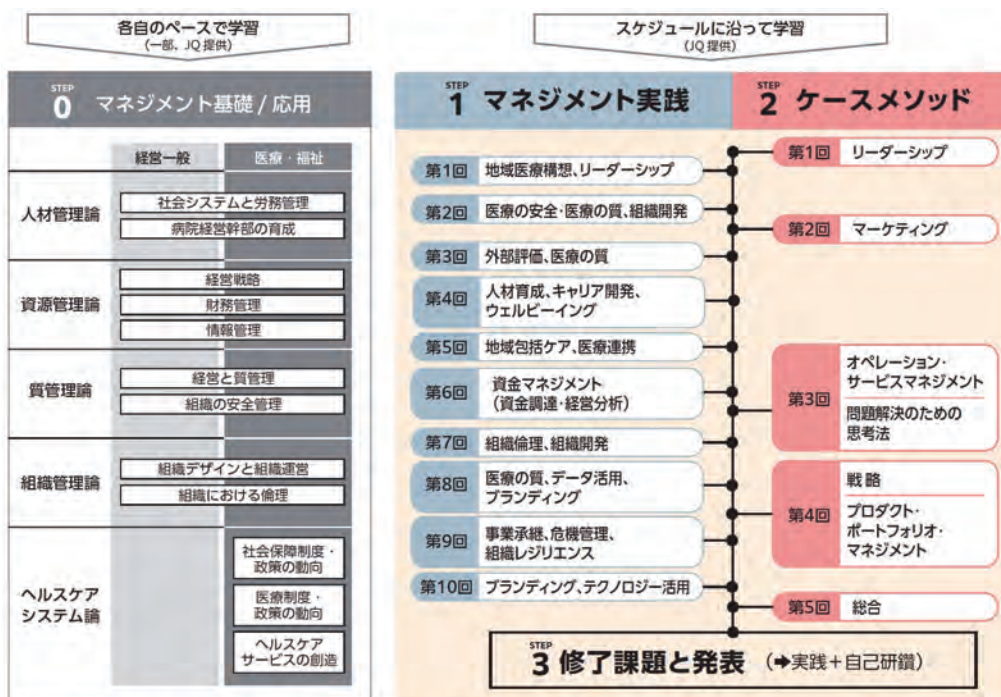
#### STEP2 ケースメソッドコース：計5回

これまでの学びや経験を総動員し、指定されたケースについて考え、議論し、応用力・実践力を高めます。リアルなケースを用いることで、現場での意思決定力を鍛えます。

#### STEP3 修了課題の発表：

学びを通して得た気づきやアイデア、思考力を活用し、課題に取り組みます。修了課題の発表を通じて、他の受講者と成果を共有し、さらなる学びの機会を提供します。

## カリキュラムマップ



・開催順や領域について、運営の都合上、一部、調整をすることがあります。

## 本セミナーの魅力

### 1. 実践を見据えた大人の学びを

受講者がそれぞれの現場で経営幹部としてのスキルを発揮できるよう、ケースメソッドを中心にカリキュラムを設計しています。学習者自身が授業に積極的に参加し、主体的に問題に取り組む「アクティブラーニング」の考え方を採り入れ、受講中の自学自習を前提とし、修了後も実践と継続的に学び続けることを意識してセミナーを開催します。各自の興味とペースも尊重し、無理なく学習を進められるよう、講師・事務局でサポートします。

### 2. 段階に応じた仕掛け

段階や時期に応じたサポートや情報提供を行います。また、事務局や講師が積極的にメッセージを発信することで、学習のペースメーカーとして役割を果たすとともに、講師や受講生同士のネットワークづくりもサポートします。

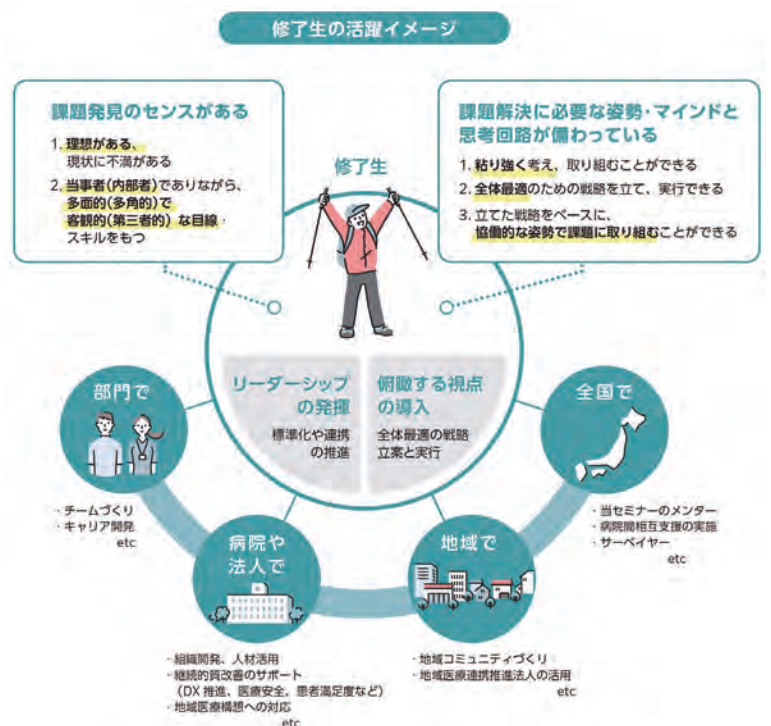
さらに、修了後も修了者が集える場として、フォローアップセミナーや同窓会、協力病院でのフィールドワークを企画・実施します。

オープンバッジや資格制度の導入も検討しており、“続ける”意欲を喚起します。

### 3. JQならではの講師・コンテンツを提供します

セミナーではJQが培ってきた知見と人脈を活かしたオリジナルコンテンツを開発。受講者の「知りたい」「学びたい」「実践したい」を刺激する内容を提供します。

さらに、本セミナーを通じて、病院機能評価事業や教育研修事業が実施する各基礎プログラムを通じた人材養成の活用のノウハウもお伝えします。他の機構事業と積極的に連携することで、将来にわたる総合的な病院支援を実現します。



## 最後に

このように、「医療エグゼクティブ・オフィサー養成セミナー」は、不確実な時代における病院経営の新たな指針を提供するプログラムです。ケースメソッドを中心とした実践的な学びを通じて、経営幹部層が直面する多様な課題に対応する力を養います。

病院機能評価事業や、その他の人材養成プログラムとのシナジーが実現できるとともに、地域感覚とデザインセンスを備えた経営幹部の育成を通じて、地域医療の持続可能性を高めることができます。次世代のトップリーダーをめざす意欲ある皆様のご参加をお待ちしています。

## さらに充実！ 診療ガイドラインなら「Mindsガイドラインライブラリ」(EBM医療情報部)

EBM医療情報部が運営する「Mindsガイドラインライブラリ」では、2024年度に新たに約60件の診療ガイドラインの本文を著作権者の皆さまのご協力のもと公開することができました。

診療ガイドラインは、最新の科学的根拠に基づき作成され、診療の現場で検査や治療について、患者さんと医療者がよりよい選択をするための信頼できる情報をまとめています。

近年では、看護ケア、リハビリテーション、予防など幅広いテーマの診療ガイドラインも増え、多職種の皆さまにとっても身近なツールとなっています。

「Mindsガイドラインライブラリ」では、国内の診療ガイドラインの検索・閲覧ができるだけでなく、診療ガイドラインの理解を深めるコンテンツや、患者さん・ご家族向けのわかりやすいリーフレットなどもご用意しています。ぜひご活用ください。

Mindsガイドラインライブラリ  
<https://minds.jcqhch.or.jp/>



リーフレットのご案内

<https://minds.jcqhch.or.jp/minds/more-info/pr-materials/>



## 解説WEBセミナーのアーカイブ配信のお知らせ(産科医療特別給付事業)

2025年1月より開始した産科医療特別給付事業につきまして、診断協力医・診断医・加入分娩機関の皆様のご理解を深めていただくため、2025年1月18日にオンラインにて解説WEBセミナーを開催しました。

セミナーの実施後、アーカイブ配信を希望される声を多数いただきましたので、2025年4月1日～9月30日の期間で、アーカイブ配信を実施いたします。

本セミナーでは、事業の成り立ちや診断書作成のポイント、審査における給付基準の考え方を詳しく解説しております。

関係者の皆様には是非ご視聴をいただきたく、同封のチラシにて詳細を確認のうえ、関係者に広くご案内をいただきますようお願い申し上げます。





# イベント情報

各種セミナーをWeb配信（録画型）やウェビナー（リアルタイム型）等で提供しています。詳細・お申し込みは、下記URLもしくはQRコードからWebサイトにアクセスしてご確認ください。

	事業	開催日/視聴期間	イベント名
動画配信	評価	お申込みから2年間	病院機能改善支援セミナー【項目編】
動画配信	評価	お申込みから2年間	病院機能改善支援セミナー【審査当日編】
動画配信	評価	お申込みから2年間	病院機能改善支援セミナー【一般病院3】
セミナー	評価	開催日/ 2025年6月20日 10:00～15:00 申込期間/～2025年5月31日	大阪府病院協会、私立病院協会、医療法人協会共催 病院機能評価 概要説明会+受審相談会（大阪）
セミナー	評価	開催日/ 2025年8月1日 9:30～15:00 申込期間/～2025年7月18日	2025年度 第1回 病院機能改善支援セミナー【総合】（福岡）
セミナー	評価	開催日/ 2025年9月（予定） 申込期間/ 2025年5月～	2025年度 病院機能改善支援セミナー【総合】（一般病院3）
セミナー	評価	開催日/ 2026年2月（予定）	2025年度 第2回 病院機能改善支援セミナー【総合】（東京）
セミナー	教育	開催日/2025年4月～ 申込期間/2025年2月～	2025年度 医療対話推進者養成セミナー （年7回開催予定）
セミナー	教育	開催日/2025年6月～ 申込期間/2025年3月～	2025年度 クオリティマネージャー養成セミナー （年2回開催予定）
セミナー	教育	開催日/2025年4月～ 申込期間/2025年2月～	2025年度 JQ医療安全管理者養成研修 （年6回開催予定）
セミナー	教育	開催日/調整中 申込期間/2025年4月～	2025年度 医療安全マスター養成研修 （年1回開催予定）
セミナー	教育	開催日/2025年4月～ 申込期間/2025年2月～	2025年度 医療エグゼクティブ・オフィサー養成セミナー （年1回開催予定）
イベント	PSP	2026年3月7日 13:00～	2025年度 患者安全推進全体フォーラム
動画配信	QI	随時	第5回 医療の質向上のためのコンソーシアム【録画】

病院機能評価事業のイベント情報  
[https://www.jq-hyouka.jcqh.or.jp/event\\_calendar/](https://www.jq-hyouka.jcqh.or.jp/event_calendar/)



認定病院患者安全推進協議会のセミナー情報 (PSP)  
[https://www.psp-jq.jcqh.or.jp/seminar\\_calendar/](https://www.psp-jq.jcqh.or.jp/seminar_calendar/)



医療の質向上のための体制整備事業 (QI)  
<https://jq-qiconf.jcqh.or.jp/>



教育研修事業のセミナー情報  
<https://jq-edu.jcqh.or.jp/>



EBM医療情報事業 (Minds) Mindsガイドラインライブラリ  
<https://minds.jcqh.or.jp/>



QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です

# Information

## 患者安全推進ジャーナルのご案内 (教育研修事業部)

評価機構の認定病院患者安全推進協議会が発行している機関誌です。

3月発行のNo.79の特集「生体情報モニターのアラーム対応」では、総論で生体情報モニターのアラーム問題とその対応について概説するとともに、実践報告として、MACTやアラーム音統一など医療現場における取り組みを7例紹介しています。



### 患者安全推進ジャーナルのご案内

#### ●会員病院（毎号3冊を無料で送付いたします）

追加の冊数をご希望の方は、認定病院患者安全推進協議会のホームページより会員サイトにログインしてお申し込み下さい。会員価格は、1冊あたり1,100円（税込）です。

また、毎回、一定の冊数の追加をご希望の場合は、予め追加冊数を1冊単位で指定していただく「年間追加購入」のお申し込みができます。10冊単位で年間追加購入をいただく場合は、最大50%の割引となります。

詳細は、協議会ホームページをご覧ください。  
(<https://www.psp-jq.jcqh.or.jp/journal/>)

#### ●会員外の病院（1冊あたり3,300円（税込））

評価機構ホームページ「出版・ダウンロード」からお申し込みください。

### 編集後記

新緑が目に見え、鮮やかな季節となり、心地よい風が日々を彩る頃となりました。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。この時期は自然の息吹を感じながら、新たな挑戦や目標に向けて気持ちを新たにす絶好の機会です。散歩や読書、気になる趣味に取り組むことで、日々の疲れを癒しつつ、心にゆとりをもたらしましょう。皆さまにとって、輝かしい季節となりますようお願いしております。

## 医療安全情報の公表 (医療事故防止事業部)

医療事故情報収集等事業では、以下の医療安全情報を提供しました。

#### ●No.220

「2024年に提供した医療安全情報」（3月）

#### ●No.221

「カリウム製剤の投与方法間違い（第2報）」  
(4月)

詳細は、本事業ホームページからご覧ください。

<https://www.med-safe.jp/>



No.220（1ページ目）



No.221（1ページ目）

評価機構

## NEWS LETTER 2025年5月1日発行

発行：公益財団法人日本医療機能評価機構（略称：評価機構）

発行責任者：河北 博文

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1丁目4番17号 東洋ビル

TEL：03-5217-2320（代）／（編集：総務部）

<https://jcqh.or.jp/> e-mail: [info@jcqh.or.jp](mailto:info@jcqh.or.jp)

本誌掲載記事の無断転載を禁じます